

# Electrochemistry – 2022年(Vol.90)から発行方法が改訂されます

公益社団法人電気化学会の学術論文誌 *Electrochemistry* (以下、本誌) では、信用あるオープンアクセス(OA)誌の実現に向け、Directory of Open Access Journal(DOAJ)採録の申請と OA 誌としてのベストプラクティスの実践に向けた準備をすすめています。

この取り組みの一環として、以下の改訂を Vol.89, No.6(2021年11月5日発刊)において一部導入し、2022年出版の Vol.90 から全面的に実施いたします。また変更に関する投稿システム(Editorial Manager)の改修および投稿の手引き(Instructions for Authors)の改訂は順次行う予定です。これらの改訂は2020年9月に行われた J-STAGE 編集掲載システム新機能リリースを受けて行うものです。

## 1. 月刊化と論文の逐次発行

現在、年6回、隔月発行(奇数月5日)としておりますが、これを月刊誌とします。採択された原稿は従来通り、著者原稿版(Accepted Manuscript)による早期公開と PDF 版の Uncorrected Proof による著者校正を終えた後、数日後に逐次発行されます。発行日は個々の論文ごとに定められます。今後は Corrected Proof はなくなり「印刷中」の期間が著しく短縮されます。

この発行方法に従い、個々の論文に係る日付は順に以下の通りになります。

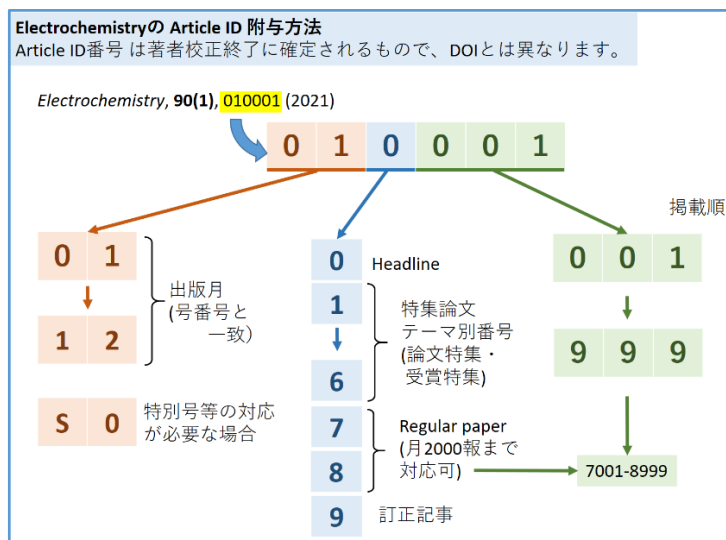
- ・受付日 (Received date) ・採択日 (Accepted date) ・早期公開日 (Published online date)
- ・発行日 (Issued date)

上記の情報の表記変更に伴い、各論文 PDF 版の初頁は以下のように表記されます。

The image shows the top portion of a journal cover for *Electrochemistry*. On the left is the logo of The Electrochemical Society of Japan. The title "Electrochemistry" is prominently displayed in the center. Below the title is "The Electrochemical Society of Japan". On the right side, there are several dates: "Received: November 11, 2021", "Accepted: November 29, 2021", "Published online: December 15, 2021", and "Issued: January 6, 2022". Below the title, there are two J-STAGE links: "https://doi.org/10.5796/electrochemistry.21-01234" and "https://doi.org/10.50892/data.electrochemistry.12345678". At the bottom left, it says "Article" and at the bottom right, "Electrochemistry, 90(1),017001 (2022)".

## 2. 通年ノンブルの廃止と Article ID の使用

今回の改訂では原稿ファイルから作製された全文 XML データが活用されます。これにより J-STAGE 上で HTML 版が発行されるとともに、Infrastructure Services for Open Access(IS4OA)により運営されている DOAJ への採録が認められた場合、全文 XML データを提供し、DOAJ にも論文書誌情報が掲載される予定です。本誌の HTML 版の発行に伴い、個々の論文に右図のとおり Article ID が掲載決定順に付与され、ページは PDF 版の記事にのみ論文毎に付与されます。この変更により、通年ノンブル(ページ番号)が廃止されます。



### 3. 各号記事の目次 (Table of Contents: TOC) 確定日

上記の変更により、各号記事の目次は月末に確定します。これに伴い、Electrochemistry の出版に関する各種期限は下記の通りになります。これは現行の投稿の手引き Column 14 の更新情報となります。

号	発刊日末日	校正返却期限	最終入稿期限	備考
	刊行日は各論毎に逐次となり、各月末日に掲載したもので当月号となります。	著者校正の返却期限となります。入稿期限が守られていてもこの期限から遅れた場合には次号扱いになります。	早期公開・製版・著者校正に必要な期間を反映しています。	
1	1/31	1/17	前年 12/10	年末年始にかかるため締切が早くなります
2	2/28(29)	2/10	1/14	2月の日数・祝日のため締切が早くなります
3	3/31	3/16	2/20	
4	4/30	4/14	3/20	
5	5/31	5/17	4/15	GWにかかるため締切が早くなります
6	6/30	6/15	5/15	
7	7/31	7/14	5/25	
8	8/31	8/16	6/10	御盆にかかるため締切が早くなります
9	9/30	9/13	7/15	
10	10/31	10/14	9/20	
11	11/30	11/14	10/20	
12	12/31	12/9	11/18	論文賞審査のため入稿期限・校正返却期限とも早くなります。

### 4. J-STAGE Data を利用した Supporting Information 掲載

本誌のデータリポジトリである J-STAGE Data は 2021 年 3 月から運用を開始しました。さらに 2022 年から原稿の Supporting Material の掲載場所を J-STAGE Data に一元化し、Supporting Information のファイル形式の多様化を図ります。PDF による文書だけでなく、様々なファイル形式によるデータセット (生データの登録)、メディアファイルのアクセシビリティを飛躍的に向上させます。なお、この変更は 2021 年中から順次試行を始めており、Vol.90 から実施します。

### 5. オープンアクセス論文の著者情報に関するデータの記載

OA 論文の信頼性は学会や出版社が編集に対して行う取り組みだけでなく、著者が研究倫理に対する意識を向上させることにより改善されると考えられています。すでに投稿システムにおいて論文投稿における倫理指針の遵守や CRediT に基づく著者の役割に関する入力を行っていただいておりますが、2022 年からこれらの情報に基づき以下の項目が論文の末尾に附記されます。

#### ・ 著者の役割(CRediT Author Contribution Statement) (必須)

著者の Authorship を明示していただくため著者の貢献役割の分類 Contributor Roles Taxonomy (CRediT), をすべての著者にそれぞれ記載していただくものです。投稿時に Editorial Manager に入力された情報が転記されます。この項目の記述は編集部でフォーマットされるため、原稿に記載する必要はありません。

\* 2021 年 8 月 18 日現在、Editorial Manager 日本語版における CRediT の分類のうち、Conceptualization(概念化)の記載が誤っており「役割」となっています。Conceptualization に該当する役割を指定したい場合は「役割」を選択して下さい。(2021 年 9 月修正予定)

- **データ利用可能性ステートメント(Data Availability Statement: DAS) (任意)**

DAS は論文の読者が論文中に示されているデータを二次活用するため、どのようにデータを入手できるか、あるいは二次利用におけるデータの取り扱い方を示したものです。Electrochemistry に投稿する際にすべての生データを提供することは義務ではありませんが、読者の利便性だけでなく、論文データの信頼性を担保する上でデータの提供が推奨されています。これらは J-STAGE Data に掲載され、そのデータ情報を DAS として記載されます。データの提供がない場合であっても、著者への問い合わせや別にデータが表記されている場合はそれを記載することが推奨されます。

- **利益相反の状況(Conflict of Interest) (必須)**

著者は Electrochemistry に原稿を提出する際に、利益相反(Conflicts of Interest: COI)を開示するように求められます。著者にとって経済的・非経済的に関係があり、著者が行ってきた研究に対してバイアスをもたらす可能性のある事実については、いずれも原稿提出時にその内容を説明する義務を負わなければなりません。利益相反がない場合も、投稿時の追加投稿情報の提出においてその事実を宣言する必要が生じます。投稿時に Editorial Manager の補足事項として記入の有無が確認されます。

- **研究資金の提供(Funding Information) (提供を受けている場合は必須)**

これまでは謝辞に記載されることが多かった情報ですが、この内容が記載されることにより、謝辞での記載は任意となります。投稿時に Editorial Manager に入力された情報が転記されます。この項目の記述は編集部でフォーマットされるため、原稿に記載する必要はありません。

以 上

2021 年 8 月 18 日

公益社団法人電気化学会  
編集委員会  
Electrochemistry 編集部